

地域の活動

シリーズ⑩

社会福祉協議会では、誰もが住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、地域の皆さんとともに“ふくしのまちづくり”を進めています。

新しい生活様式の中での 地域活動の提案！

新型コロナウイルス感染拡大防止により、
自粛生活が続いていました。
こんなときだからこそ、新たなつながりや
様々なつながり方を進めていきます。

つながりを
力に！

①らくらく健康体操



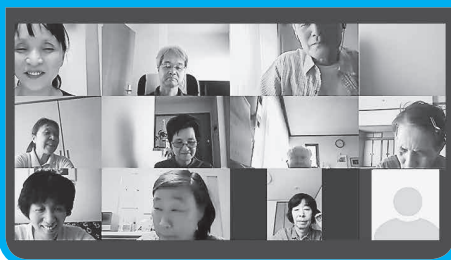
②わかばサロン



③ウェル会



④鶴ヶ島市視覚障がい者の会 アイネット



⑤NPO法人動画ファンクラブ



①らくらく健康体操 代表の伊原組さんは、メンバーのお宅に介護予防のための資料をポストイン／②わかばサロン 代表の佐々木さんは、メンバーの皆さんにお電話して安否確認を行い、おうちでできるマスクづくり等の資料をポストイン／③ウェル会 代表の石井さんは、「今困っていることはありませんか？」「おうちで体操しましょう」と電話で連絡。「安心した」「いつも電話ありがとう」という言葉が返ってきました。／

④鶴ヶ島市視覚障がい者の会アイネット 鶴ヶ島パソコンサポートボランティアの協力をいただき、オンライン会議に挑戦。視覚に障がいがあっても、パソコン、スマートフォンを駆使し交流を深めています。／⑤NPO法人動画ファンクラブ メンバーとの定例会は、オンラインで会議。

日常生活を 営む上での 基本的な生活様式

(厚生労働省発表資料より)
令和2年5月

■まめに手洗い・手指消毒 ■咳エチケットの徹底 ■こまめに換気

■身体的距離の確保 ■「3密」の回避（密集、密接、密閉）

■毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養
これらを導入してもつながりは、切らない。また、生きがい、やりがい、介護予防、認知症予防にもつながるおうち活動を続けていきます。

熱中症予防にも
配慮しましょう

社会福祉協議会の ホームページをご覧ください。

鶴ヶ島 社協 で 検索

携帯・スマートフォン等から QR コードを読み取り、
ホームページを見ることができます。



社協だよりは、目の不自由な障がい者の方々に、点字版・デージー版を発行しております。
ご希望の方は、社会福祉協議会までご連絡ください。
(協力：鶴ヶ島市点字サークル「アイ」、鶴ヶ島音訳ボランティアサークル「せせらぎ」、デージー鶴ヶ島)

この「社協だより」は、共同募金配分金により作成しています。



のすすめ！

「おうちでボランティア（社会貢献）活動！コロナに打ち勝つ、おうち活動！」

～彩の国ボランティア体験プログラム2020 in 鶴ヶ島～

今年の夏、何か新しいことをしてみたいけれど、どこで何をしたいのかわからない・・・

そんなあなたへ！お家でできる社会貢献活動を中心に、企画しています！

小学生から大人まで、家族や友達と、一人での参加も大丈夫！この夏は「ウチカツ」してみませんか？

プログラム例

- ・保育園のおもちゃを作成して社会貢献！
- ・自然環境を守る活動のお手伝いで社会貢献！
- ・高齢者施設の壁面の装飾のお手伝いをして社会貢献！
- ・自分にできる活動を提案して、社会貢献！

参加申し込み方法

①詳しい体験プログラムを見る

「彩の国ボランティア体験プログラム2020 in 鶴ヶ島」をホームページでご覧いただくか、冊子版をご確認ください。（7月中旬掲載予定）

ホームページ

鶴ヶ島 社協

検索

冊子版配布先

- ・社会福祉協議会（市役所6階）
- ・市民センターなどの公共施設
- ・市内の各中学校

②申し込みをする

受付申し込み期間 7月中旬予定

申込み：パソコン、スマートフォンからの申込みを予定しています。

問合せ：8ページ窓口一覧 社会福祉協議会まで

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止となる場合があります

With コロナ

地域De交流事業 ご近所の交流事業 コロナ禍でもつながろう！

コロナ禍でもつながりを保つ活動や、
地域活動の再開に向けての支援をしています！

●電話Deつながる！コミュニケーション！

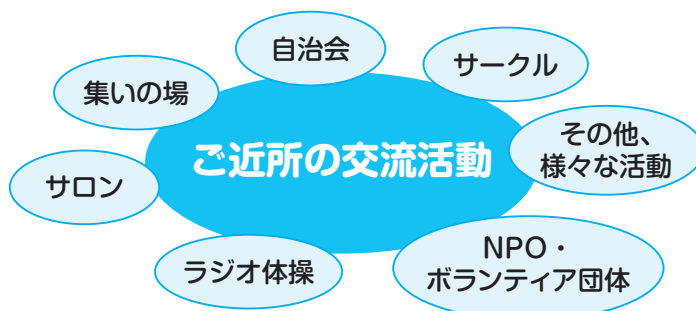
- ・連絡網づくりの支援等
- ・P C（テレビ電話）の使い方支援

●お散歩ついでにのポスティングDeつながる！

- ・サロン等の仲間に配布できる資料
- ・コロナ禍でのお家でできる体操・脳トレ情報
- ・サロン通信 などの作成支援

●活動再開のための感染症予防対策！

- ・活動のためのチェックリスト配布
- ・手作りマスクの配布



●ボランティア活動保険受付

コロナ等感染症も対象となります。
詳しくは社協までお問合せください。

手作りマスク アクリルたわしづくり

ご協力ありがとうございました!!

新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛生活が続いていました。動かないことによる生活の不活性から、身体や頭の動きが低下するフレイル（虚弱）が進んでしまうことが言われ、フレイルを予防するための活動として始まった、ウチカツ！

社協では、手作りマスクやアクリルたわしの作成をホームページなどでお知らせしたところ、たくさんの方々が活動にご協力くださいました！

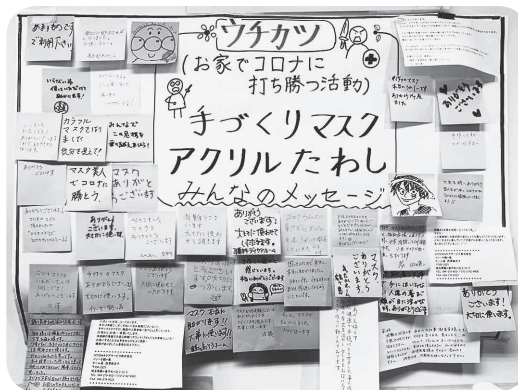
手作りマスク
約1,700枚

アクリルたわし
約400個

(89人、15団体)

その他、袋詰めや生地のカット、メッセージカードの作成などご協力ありがとうございました！

※6月10日現在



市民の方をはじめ学童、高齢者施設、地域福祉団体、ふれあいサービス利用者・協力者、ふれあいいきいきサロン等にお届けすることができました。



給食がない間の食料品提供

5、6月の4日間にわたって、小中学生がいて新型コロナウイルス感染症の影響でお困りの世帯等に、食料品提供を行いました。

NPO法人カローレでは、市と協働して不定期に食料品提供を必要な家庭に配布しています。

今回は、配布にあたり、NPO法人こすもす作業所やふれあい・いきいきサロン「えんぴつとおにぎり」、地域支え合い協議会、学生ボランティアの皆さん等にも社協から声をかけ、協力をいただきました。



食料品を配布できるよう準備するボランティア

鶴ヶ島市社会福祉協議会 令和2年度

※令和2年度事業計画の詳細はホームページまたは、社会福祉協議会窓口まで

鶴ヶ島市では、「誰もが安心していきいきと暮らせるまち」を目指し、平成29年度から令和3年度までの第2次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画を策定しています。鶴ヶ島市社会福祉協議会では、地域福祉活動計画に基づき令和2年度事業計画を作成しました。その一部をご紹介します。

基本目標1 地域のふれあいで支え合いの仕組みをつくろう

(1) 見守り、受け止めるシステムづくり

支援を必要とする人への理解や見守り活動を広め、市民相互の相談や専門相談機能の充実を図り、支援を必要とする人への支援につなげるシステムを推進します。

☆福祉教育・体験学習推進校等指定事業

小中高等学校・保育園・幼稚園が主体的に行う福祉教育活動の推進を目的とし、サービslラーニング(※)の視点を入れた福祉教育実践に対して支援をします。
※サービslラーニングとは、学習と実践を結び付ける教育プログラムです。

☆福祉教育・ボランティア学習推進事業

小中学校や高等学校で実施している福祉教育・ボランティア体験学習を促進するために、地域の団体、障がい者、ボランティア、社会福祉施設等と連携して、福祉教育実践の機会を拡充します。

☆鶴ヶ島市障害者基幹相談支援センター

障がい者及び障がい児並びにその家族等の地域における生活を支援し、障がい者の自立と社会参加の促進を図ります。

(2) ふれあい、交流のシステムづくり

☆ふれあい・いきいきサロン推進事業

高齢者、障がい者、子育て中の親子等様々な人が、身近な場所に気軽にあつまり、楽しい仲間づくりができるよう、多様な内容で交流できるあたたかな居場所づくりを支援し拡充します。

☆鶴ヶ島市立障害者生活介護施設の運営

利用者が地域において生きがいを感じながら生活を送ることができるよう、健康の増進・様々な社会的体験・生産活動を通じて、地域の人々との交流の機会などを提供します。

☆障害者喫茶コーナー（どんぐり）運営事業

障がい者と市民の交流の場、就労の場として、喫茶コーナーを運営し、自立支援と社会参加を支援します。



ふれあい・いきいきサロン（にぎやか茶屋）

(3) 市民の支え合いのシステムづくり

☆小地域組織化推進事業

地域住民が主体となった地域支え合い協議会の活動を市と協働して支援し、地域の支え合い・助け合いの仕組みを推進します。

☆住民参加型生活支援活動事業（つるがしまふれあいサービス）

日常生活の援助の必要な利用会員と協力会員の相互扶助の仕組みにより、介護保険や障がい福祉サービス、子育て支援等の制度やサービスだけでは対応できない支援を行います。

☆鶴ヶ島市ファミリー・サポート・センター事業

子育ての援助を依頼したい方（利用会員）と、子育ての援助をしたい方（提供会員）が、会員間の援助活動に関する連絡や調整等を行うことにより、地域における子育てを応援しています。（子育て援助活動支援事業）

☆赤い羽根共同募金運動の推進、地域歳末たすけあい募金運動の推進

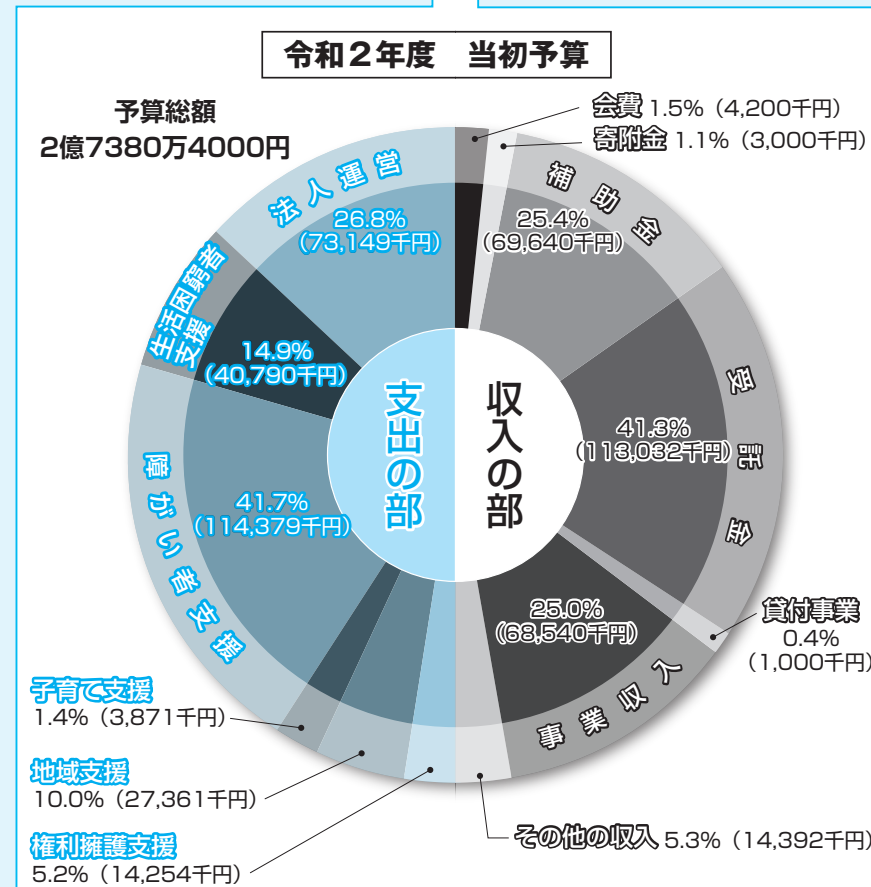
社会福祉法人埼玉県共同募金会鶴ヶ島市支会を設置し、共同募金運動にかかわる市民、団体、事業所等と協力をしながら、「自分のまちを良くするしくみ」としての意識醸成をすすめます。

(4) 市民と多様な団体との支え合いのシステムづくり

ボランティア、市民活動団体、福祉事業者、自治会、地域支え合い協議会等が、企業や商店街、学校等と地域課題を解決するための協働を促進し、支え合いのシステムを構築します。



会食・配食事業
脚折北部自治会を中心として、食生活改善推進員、中学生等が協力



基本目標2 支え合いの仕組みで安心できる地域をつくろう

(1) 災害時に備えた支援のシステムづくり

☆災害対策事業

災害ボランティアセンターの設置運営の訓練や被災地支援活動を実施します。



災害ボランティア派遣
(台風第19号災害 東松山市)

(2) 生活困窮者の支援のシステムづくり

☆鶴ヶ島市生活困窮者自立相談支援センター

生活困窮者ひとり一人に応じた包括的な相談支援やそれを支える地域の基盤整備(関係機関・地域のネットワークづくり、職場や活動の場の開拓等)を行います。

(3) 社会的孤立を防止するシステムづくり

社会的孤立をつくらないことを意識して、市民、専門職がそれぞれの立場で、見守り・支え合うための相談機能を充実します。

☆鶴ヶ島市手話通訳事業

聴覚、音声及び言語機能障がい者の家庭生活や社会生活におけるコミュニケーションを円滑に行うため、手話通訳者の派遣や、手話技術の習得のための手話講習会を実施します。

(4) 高齢者の地域包括ケアシステムづくり

☆生活支援体制整備事業

これからの超高齢社会の中で、だれもが住み慣れた地域で暮らし続けられるように、支援を必要とする人と専門職や事業所をつなぐコーディネート仕組みをつくり、地域包括ケアシステムの構築を市と共に推進します。

(5) 権利擁護のシステムづくり

☆権利擁護支援・法人後見事業

判断能力の不十分な人が地域で安心して生活していくために、権利擁護のための相談支援や成年後見制度の利用を総合的に支援します。

基本目標3 安心できる地域でいきいき暮らせるまちをつくろう

(1) 健康・生きがいを培うシステムづくり

自己実現を図り、いきいきと暮らすために、ボランティアや市民活動等にかかわる機会を増やし、その活動を支援します。また、地域活動や就労などを支援します。

(2) 社会参加を促すシステムづくり

社会参加を促すために市民活動団体等の情報を発信し、情報のバリアフリー化に努めます。また、社会参加するための支援が必要な人の参加の機会や手段を確保します。

☆福祉機器等貸出事業、3人乗り自転車貸出事業

車いすや介護ベッドを必要な方に貸し出します。また、子育て支援の一環として、1歳以上6歳未満の子どもを2人以上養育している子育て世帯を対象として、3人乗り自転車を貸し出します。



障がいの有無にかかわらず、地域の社会福祉施設を借りてヨガ教室を実施

☆障がい者支援の地域づくり事業

鶴ヶ島市障害者支援ネットワーク協議会と協働して、すべての障がい者向けの社会参加、余暇活動支援を行います。さらに、事業所や関係機関、障がい者、ボランティア団体等の連携を強化し、すべての人々が尊厳と生きがいを持って安心して暮らすことのできる地域づくりを推進します。

支える幸せを実感しませんか？

つるがしま ふれあいサービス会員募集

つるがしまふれあいサービスは「住み慣れたまちで安心して自立した生活ができるように」、こうした思いを形にした地域で支え合う福祉のまちづくり活動です。

協力したい方 (協力会員)

掃除や料理が好きなんだけど…

何かお手伝いできることはあるかしら…

- ・特別な資格は必要なく、週に1時間からの活動でも大丈夫です。
- ・1時間700円の費用をお支払いします。
- ・研修会や連絡会なども随時行っています。

利用されたい方 (利用会員)

お話がしたいけど誰か来てくれないかしら…

腰が痛くて力が入らないので掃除をお願いできたら…

- ・1時間800円の費用が掛かります。
(事前に10枚つづりの利用券を購入)
- ※高齢の方、一人暮らしでお困りの方、子育て世帯など、支援が必要な方を協力会員がお手伝いします。



昨年度は精神障がい者の理解や事例検討、施設の見学を兼ねた看取りの研修などを行いました。今年は9月にアサーティブトレーニング(※)と10月にアンガーマネジメントの研修を実施する予定です。新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止となる場合もあります。

※アサーティブトレーニングとは、自分も相手も大切にしたい自己表現を身につけていくトレーニングです。

新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら活動をしています。



協力会員 黒川道雄さん

段ボールの整理、掃除などの依頼を受けています。80歳を過ぎましたが、「利用者がしてほしいことを助ける」ことが自分の楽しみになっています。



協力会員 佐藤幸子さん

70歳過ぎてもこうして活動できることがとてもうれしいです。利用者の方の元気そうな顔を見ると今日もがんばるぞという気がわいてきます。



協力会員 小川喜美子さん

まだ活動を始めたばかりですが、70歳を過ぎたこの年でどなたかのお役に立てたらいいと思って活動しています。

活動中の 事故に備えて

傷害保険・賠償責任保険に加入しますので、安心して活動していただけます。新型コロナウイルス感染症も対象になります。

※利用されたい方・協力したい方もお気軽にお問合せください!!

問合せ 鶴ヶ島市社会福祉協議会 049-286-5739
(ふれあいサービス直通)

一時的な生活資金の 緊急貸付に関するご案内

新型コロナウイルス感染症の影響を受け休業や失業等により収入が減少し、生活を維持することが困難になった世帯に向けた緊急小口資金等の特例貸付を実施しています。

特例貸付制度の詳細は、厚生労働省、埼玉県社会福祉協議会ホームページ等でご確認ください。

■申込受付件数（令和2年5月31日現在）

緊急小口資金特例貸付 138件

（主に休業された方向け）

総合支援資金特例貸付 33件

（主に失業された方向け）

介護者のつどい

●オンライン参加できます

日時：7月18日（土）午後1時30分～午後3時

内容：介護経験者による講演等

場所：市役所6階会議室

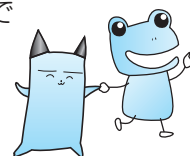
定員：5名（オンライン参加は定員無し）

申込期間：7月6日～7月16日

その他：手話通訳あり（7月13日までに要申込）

申込み・問合せ：8ページ窓口一覧

鶴ヶ島市社会福祉協議会まで



「新型コロナウイルス感染拡大防止のために」と ご寄付いただきました

●埼玉県書店商業組合鶴ヶ島支部から10万円のご寄付をいただき、鶴ヶ島市内の通所の高齢者施設、障がい者施設43か所に手指消毒液をお配りしました。

●このほか、皆さまから寄せられる寄附金、社協会費や赤い羽根募金を活用して、非接触式電子温度計を鶴ヶ島市内の通所の高齢者施設、障がい者施設36か所にお配りしました。



利用者の体温を計測

社協会員加入促進月間の延期について

毎年7月を「社協会員加入促進月間」とし、自治会のご協力により各世帯にお願いしていました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、依頼を延期している状況です。期間が決定しましたら改めて、お知らせいたします。引き続き、皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

その間の社協会員加入につきましては、社会福祉協議会窓口（市庁舎6階等）で加入（更新）手続きを承ります。

昨年度は
個人会費5,147口・
団体会費96口・賛助会費109口、
合計3,759,500円が
市内で行われている地域福祉活動
に使われました。
ありがとうございました！

就労移行支援事業所

障がいのある方へ、一から就労へ向け、サポートいたします。

川越市には3つのOfficeがございます。障がいや就労経験に合わせ、ご希望のOfficeをご紹介します。

就労経験者・ブランクのある方

発達障がい専門

一から就労の準備をしたい方

川越Office

場所 川越市脇田本町16-20
森田ビル5階
TEL 049-257-4213

川越第2Office

場所 川越市菅原町20-25
シンザン2階
TEL 049-298-5623

川越第3Office

場所 川越市脇田本町16-20
森田ビル2階
TEL 049-265-3648

広告

公共交通機関を利用し通所される方
交通費応援制度

Cocorportへ通所される方
ランチ応援制度

手話ワンポイントレッスン

「新型コロナウイルス感染症」

左手でアルファベットの“C”、
右手はパーを作る。Cの親指側の
手首から指先に向けて扇型に
動かす。



社会福祉協議会

会議室、ボランティアルームなどの利用について

社協では、ボランティア・市民活動団体等の活動支援を目的として、市役所6階会議室、ボランティアルーム等の貸出をしています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一時利用を中止していましたが、利用制限を設けるなど各種感染防止対策を講じながら利用を再開していきます。皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

○各部屋の最大利用人数は次のとおりです。

・会議室 10名 ・準備室 7名

※ボランティアルームにつきましては、令和3年3月31日まで使用を中止とさせていただきます。

○詳しい利用方法等については、ご相談ください。

○当面の間、利用制限をさせていただきますが、国及び県、市の動向、市内の感染状況等を踏まえ、必要な見直しを行います。最新情報につきましては、ホームページ等をご覧ください。

社会福祉協議会

Facebookページを開設しました!!

地域福祉情報の提供やボランティアの促進、被災地支援などリアルタイムな情報発信を行うため、Facebookページを開設しました。

携帯・スマートフォン等からは、QRコードをお読み取りください。

パソコンからは、Facebookページで「鶴ヶ島市社会福祉協議会」と検索をお願いします。



ご紹介したい地域の情報などありましたら、ぜひお寄せください。

あたたかい善意、ありがとうございました。 (社会福祉協議会への寄附)

社会福祉法人に対する寄附金は、
税額控除の対象となっています。

お寄せいただきました善意は、社会福祉事業に活用させていただきます。(順不同、敬称略)

富士見ゴルフ協会	7,960円
富士見利用者の会	44,674円
影絵劇団ピーターパン	24,093円
株式会社ベルクすねおり店お客様一同	19,104円
株式会社ベルク鶴ヶ丘店お客様一同	24,393円
鶴ヶ島市福祉教育ボランティア	
学習推進員「ういず・共に」	7,139円
埼玉県書店商業組合鶴ヶ島支部	100,000円
チヨキチヨキはなちゃん	3,948円

その他、匿名にて4名の方から寄附金、1名の方から物品をお寄せいただきました。

(令和2年2月1日～令和2年5月31日)

窓 口 一 覧

■ 鶴ヶ島市社会福祉協議会 事務局

〒350-2217 鶴ヶ島市三ツ木16-1 (市庁舎6階)

(月～金曜日 午前9時～午後5時15分)

電話 049-271-6011(代表) FAX 049-287-0557

● 手話通訳事業担当

FAX 049-271-6277 電話 049-271-6278

● 権利擁護支援センター

電話 049-277-3317

● 障害者相談支援事業所

● 鶴ヶ島市生活サポートセンター

電話 049-277-4116 FAX 049-277-4117

■ 鶴ヶ島市立障害者生活介護施設「きいちご」

(月～金曜日 午前9時～午後5時15分)

〒350-2217 鶴ヶ島市三ツ木935-1

電話 049-287-7456 FAX 049-298-3241

